



広報

ごよみかわら

発行所
 五所川原市役所
 435号
 昭和53年11月15日
 印刷 西北印刷

市の人口 男 25,426人 世帯数 14,256
 52,584人 女 27,158人
 (昭和53年11月1日現在) 住民基本台帳から



にぎやかに 農協祭

十一月三日は、文化の日。この日を中心に、市民総合文化祭や学校のバザー、農産物の品評会など多彩な行事が各地で行われました。

恒例の市農協祭が、七、八の両日、市民文化会館で行われ、手塩にかけて育てた野菜や果物、また、農産加工品などがいっぱい展示

され、収穫をおえてひと息ついた農家の観覧者でにぎわいました。山の初雪のたよりととも

にと早くも冬仕度に入り、冬將軍の到来に備えています。

成田氏に文化褒賞 三橋、鶴谷、原、高橋氏

金沢医科大学卒。医学博士。医業のかたわら草花の研究にはげみ、「さくらそう」の展示会を十五年間にわたり開催、その普及に努めました。
津軽地方に自生する名もない山野草を研究、著書「津軽の茶花」を自费出版し、



森 富夫氏(六七)

市内相原町七三

その成果は、植物学界はもとより内外で高く評価されています。

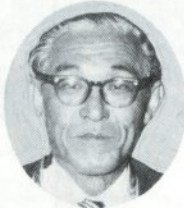
□内助功労章
万亀子さん

地震予知の 精度を高める 一戸時雄氏(55)

京都市左京区北白川別当町七

市内藻川出身。京都帝大理学部地球物理学科卒。理学博士。わが国における地球物理学の第一人者です。とくに、学位論文「重力の時間的变化の研究」で内外に高く評価され、重力の測定を火山の噴火や地震の予知に応用し、その後の地震予知の精度を高めるものとして世界的に知られています。

□内助功労章
智子さん



すぐれた風土詠み 成田 力氏(五七)

市内元町八一〜六



若くして俳句の道に入る。俳号「千空」。戦後の荒廃期に文化活動の必要性をとり「津軽詩話会」、「五所川原俳句会」を結成、後輩の指導にあたるかたわら創作を続けています。第一回「萬緑賞」を、また四回にわたり「暖鳥賞」を受賞。多くの句集を出版し、全国や県内の俳句大会の選者もつとめ、すぐれた風土詠みの作者として高名をはせています。

□内助功労章
市子さん

市褒賞

栽培技術の向上に尽力 三橋八次郎氏(八〇)

松山市上市二丁目四〜四五

栽培技術の向上に尽しました。

一方、推されて参議院議員愛媛地方区から立候補、当選。引退後は、柴田産業会社(株)の嘱託となり、南米エクアドルに一年間滞在し、バナナの輸送法を完成させています。

勲三等旭日中綬章を受章。

市内飯詰出身。五農高、東京帝大農学科卒。愛媛県立農事試験場場長を永年つとめ、農作物の品種改良、



森、一戸、市褒賞は、

市文化奨励賞

表彰式は十八日です



昭和五十三年度の「市文化奨励賞」の表彰式が、十一月十八日(土)午後一時から市民文化会館で行われます。

今年度表彰される方は、合唱、珠算、書道、版画などの文化活動に優秀な成績をおさめた個人二十六人、十四団体(二三八人)が予定されています。



市消防団育ての親

鶴谷初太郎氏(七三)

市内中平井町七五



消防組、警防団、消防団と市消防の変遷とともに歩んできた消防人。市議会議員を五期・二十年間努めた。災害発生に際しては、率先して指揮にあたり、団員

の質資の向上と団組織の充実につとめ、今日の市消防団の基礎を築きました。

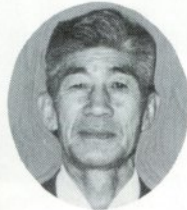
この間、団の再編に大ナタを振り、団の近代化に尽された功績は高く評価されています。県褒賞、勲五等瑞宝章を受章。

内助功労章
キヨノさん

市政の進展に尽力

原 清司氏(68)

市内新宮字岡田九九



東奥義塾卒。昭和二十三年以来現在まで第一中川農協組合長。この間、推されて旧中川村村長、県議会議員をつとめた。市が誕生した昭和二十九年、町村合併のリーダーとして奔走、一町六カ村の合併を実現させるなど、市政の進展に貢献しました。その後、五所川原堰土改区理事長など多くの土改区役員を歴任、終始農業振興にも尽しています。

内助功労章
のよさん

立志伝中の範

高橋昭夫氏(五〇)

調布市八間町三丁目八



市内金山出身。法政大学経済学部卒。商人としての道に入ったが、地元で失敗し傷心を抱えて上京。辛苦の末、東京ビルディング会社(株)を設立、七つの関連会社を経営(年商数百億円)しています。実業家として成功しながらも、愛郷心に燃え、「市立図書館」、「あすなろ大太鼓」を市に寄贈し、青少年に夢と希望を与えました。

内助功労章
みつ江さん



陸・海・空自衛隊生徒募集

願書受付 十一月十二日

資格 昭和五十四年四月一日現在、十五歳以上十七歳未満

日本国籍を有する中学卒業生。(三月卒業見込み含む。)

試験の程度 中学校三年二学期修了程度

再び増加の傾向

どこまで続く交通事故死

県内の交通死亡事故は、五月以来急速に増加し、県民あがりの取り組みにより死者数は九月末で百八人(前年比一〇人・一〇・二%増)となり、これまでの増加傾向に歯止めがかけられなかにみえました。

ところが、それもつかの間、十月に入って十八日までに十五人(前年比三人増)が死亡し、再び増加の傾向をみせ毎日のように死亡事故が続いています。

本県の十月中の死者十五

人は、東北六県の死者数の三一・三%を占める警異的な発生を示しています。

このため、県警察では、背水の陣をしき、十月中を乙作戦と銘打ち事故防止に取り組んできましたが、事故防止は警察の力だけで達成できるものではありません。

最近の交通事故は、安全施設や道路の環境の不備が原因して起きているのではなく、多くは運転者のスピードの出し過ぎや酒酔い連

転、いねむり、前方不注意など、ドライバーのマナーに原因するものが多いこと、また、歩行者で被害にあう人も、車の直前・直後の横断や横断禁止場所の横断などのルール無視が相互に関連して発生しています。

交通安全は、県民全体の安全意識の盛り上げによってなくする以外になく、みんなが、「絶対事故を起こさない」と警えば、今日からでも交通事故をなくすることができま

西北五社会教育 振興大会開く

西北五社会教育委員連絡協議会等主催の五十三年度「西北五社会教育振興大会」が次の日程で開かれます。

社会教育関係者多数の出席を望んでいます。

□とき 十二月一日(金) 午前九時三十分から

□ところ 市民文化会館

当日は、全体討議(パネルディスカッション方式)が行われるほか、県社会教育委員小沼勉氏の講演があります。

白い杖等贈る

ライオンズクラブ

類を添えて早めに申請手続きをして下さい。

申請用紙は、農業協同組合及び軽油販売店にあります。

消費者苦情相談所 「中三」に開設

県の「消費者苦情相談所」は、「中三」デパートの改築工事に伴ない市商工観光課で開設していましたが、工事の完成によりこれまでどおり同デパートで開設しています。ご利用下さい。

相談は、毎月第一・第三水曜日の二回、デパート四階の外商応接室で開設しています。

国民年金の保険料 忘れられた大変

て保険料を納めても間に合いませんので、保険料は納期限まで必ず納めて下さい。

各納期限(ただいまは二期分まで、三期分は二月二十八日)まで納めて下さい。

もし、納期限までに納めておりませんと、事故にあった場合、障害年金、母子年金等の各種の年金を受けられませんが、将来、老齢年金も受けることができなくなることもあります。

このようなき、あわ

年金相談室

国民年金、厚生年金のすべてについて、相談に応じます。

□とき 十一月二十七日(月)午前十時から

□ところ 市民文化会館 主催 五所川原市 弘前社会保険事務所

津鉄観光十万円寄付

五所川原ライオンズクラブ

五所川原ライオンズクラブ(小関和男会長)は十一月七日、会員の方々に役立てて下さいと、西北五視力障害者福祉会(斎藤清一会長・会員九七人)に盲人用の白い杖(三段おりのたみ

年末調整の説明会

市内大町の津鉄観光会社(株)では、十一月二日市教育振興会へ、「奨学資金に役立てて下さい」と現金十万円を寄付しました。

十一月二十四日(金)	午前 市役所 午後市役所
十一月二十七日(月)	九時三十分三好支所 一時中川支所
十一月二十八日(火)	市役所 市役所
十一月二十九日(水)	飯詰支所 松島支所
	市役所 市役所
	栄支所 梅沢支所
	七和農協 市役所
	長橋支所

業協同組合、七和農業協同組合、松島第一農業協同組合、市農業委員会

農業用免税軽油の申請を次の要領で受け付けします。

□受付期間 十二月二十日(水)～二十二日(金)まで。(この間申請できなかつた方は、同月二五、二六の両日。)

□受付場所 五所川原県税事務所

□取りまとめ先 農業協同組合及び軽油販売店。(受け付け期間前に、必要書

五所川原ライオンズクラブ(小関和男会長)は十一月七日、会員の方々に役立てて下さいと、西北五視力障害者福祉会(斎藤清一会長・会員九七人)に盲人用の白い杖(三段おりのたみ



広報紙の早期配布にご協力下さい

□とき 十一月十七日(金)、二十一日(火) 午前九時から午後一時からの二回

□ところ 市民文化会館 (五所川原税務署)